



暑さも日々増していき、本格的な夏もすぐそこまできているようです!たくさん遊んで、いっぱい食べて、そしてしっかりと休息を取りながら、体の変化に気をつけつつ、暑い夏を過ごしていきたいと思います。

今月は水遊びなどこの時期ならではの遊びを楽しみながら大人も子どもも元気に過ごしたいと思います。

水遊びの支度について、別紙にてお知らせしていますが、ご不明な点がございましたら担任までお声掛けください。



友達と関わる姿!!が増えてきました!

最近うさぎ組のお部屋では「かーしーて!」や「一緒に遊ぼう!」等という言葉が飛び交っていたり、友達同士で笑い合う姿が見られたりと友達に興味を持ち”友達と関わる姿”が増えてきました。

ちょっと恥ずかしくてモジモジ…という子もいます!そんな時には大人と一緒に「いーれーて」と相手に気持ちを伝える練習をしたり、「〇〇くんと一緒に遊びたいんだって!どうかな?」等と大人が気持ちを代弁して相手に伝えながらやりとりの仲介をしたりしています。時には「かして」→「やだよ」「いれて」→「だめだよ」と自分の気持ちを伝えてもうまくいかないこともあります。「やだよ」と伝えてた子に対して大人は「やだよ、じゃなくてまだ使いたいから後で貸すねってつたえてごらん」や「今使ってるよ、待っててねって言ってみてごらん」など理由や今の状況も言葉で伝えられるように声を掛けています。子ども同士の会話で「今〇〇くんと遊んでるんだ、まってね」などそんな会話が聞こえてくることもあります!

まだ自分が使っているものを一人で使いたい、じっくり遊びたい、そんな時期でもあります。自分の気持ちと、友だちの気持ちがぶつかったときに、言葉で伝えようとする力もついてきている一方、相手に伝わらないとわかると強い口調で繰り返したり、手を出すことで伝えようとする事が起こります。そんな時には大人が優しく言葉で伝える見本をみせたり、どのような言葉で伝えたら伝わるのか一つ一つ丁寧に知らせています。



大人が気持ちを代弁し、受け止めることで子どもは安心します。それぞれの言い分や気持ちを大切に、共感しながら、言葉で伝える練習をしています。言葉で伝えて相手に伝わった時には「お話きいてくれたね!」と喜びを共有しています。言葉で伝えられた子にも「自分のお口で言えたね!」と目を見てたくさん褒めています!やりたいことや自分の意思を言葉で伝えられたという沢山の成功体験をすることで、さらに友だちとの関わりが増え言葉でのやり取りが増えてきます!

どんな時も大人は気持ちに寄り添いながら見守り、その安心できる環境で気持ちを伝える事を繰り返し自信をつけていきたいです(*^_^*)

